

第107回

全国高校野球

青森大会

第6日



【八戸―八学光星】1回裏、八学光星1死三塁、久保が右犠飛を放ち2―0とする―長根

光星初回到主導権

【評】八学光星は初回、中前へ適時打を放ち、コ
田中楓の適時三塁打で先
制。久保の犠飛、田中楓
の2点適時打でさらに3
点を加え、主導権を握っ
た。二、七回に1点ずつ
加えると、八回に久保が
打を放って好機をつくっ

たが、あと一本が出な
った。
◆2安打3打点と気を
吐いた八学光星の主砲久
保（3年）狙い球を絞
り、甘く入った球をしっ
かり打ちにいこうと全
員で心がけた。初戦で貢
献できなかった分、3打
点と結果を残せて良か
った。試合を重ねること
にチームの状態は上が
ってきている。甲子園を
目指し全員で戦ってい
く。
◆1年間チームを引っ
張った八戸の主将佐々木
（3年）（光星との試
合は）みんな気合が入り
過ぎていた。自分も好機
で一本打てず、申し訳な
い。でも全力で戦えて楽
しかった。野球に打ち込
んだ3年間は一瞬で、つ
らい練習も今思えば楽し
かった。後輩たちは後悔
の残らないよう、一球一
球を大切に練習してほ
しい。